

8月22日(土)

中華全国青年連合会

訪問先都市	北京
面会者	万学軍 (Wan Xuejun) 主席助理 李小慧 (Li Xiaohui) 國際部副部長
コメント	中華全國青年連合会（全青連）は、中国共産主義青年団を核とする各青年団体の連合組織であり、信仰・党派・階層・職業・民族差異を超越した、中国青年の愛國統一戦線組織である。1949年5月4日に、中華全國民主青年連合会として設立された。万学軍主席助理を表敬訪問し、中国青年の就職状況や全青連の活動内容等の話を伺った。その後、日本青年の質問に答えていただいた。

8月23日(日)

天壇公園

訪問先都市	北京
コメント	中国で現存する最大の祭祀建造物で、1998年に世界遺産に登録された北京のシンボル。敷地面積は270万m ² 。北京を代表する観光名所であると同時に、市民の憩いの場でもある。明・清代の皇帝達が天を祭り、五穀豊穣を祈った圜丘、皇穹宇、祈年殿を訪れた。敷地内には五穀豊穣の祭りのための儀式の手順や意味を詳しく示す展示室も設けられていた。

8月24日(月)

中国国際青年交流センター

訪問先都市	北京
面会者	潘明宇 (Pang Mingyu) アジア・アフリカ科副科長
コメント	1991年に設立し、北京市朝陽区に位置している。中国・日本の入った建物の名称は中国全土で3か所あり、そのうちの一つ。施設では、中国文化を実際に体験し、広東料理の3品（松仁玉米、蠔油牛肉、宮爆鶏丁）を調理。日本料理との違いを肌で感じた。その後、中国書法院の趙先生の御指導の下、書道を体験した。我々が普段用いる漢字の奥深さを実感することができた。

在中国日本国大使館

訪問先都市	北京
面会者	山本恭司 (Yamamoto Yasushi) 公使 石飛節 (Ishitobi Takashi) 参事官 西水徹 (Nishimizu Toru) 一等書記官
コメント	在中国日本国大使館を訪れ、山本恭司公使を表敬訪問。日中関係の現在や今後の展望について、御自身の経験も踏まえた講話があった。講話や質問に答えていただく中で、参加青年は自国の歴史や、他国との関係を学ぶ重要性や、本事業を通じて集合名詞としての「中国人」を「〇〇さん」という具体的な人の顔の浮かぶ固有名詞に変えていくことの大切さを学んだ。

中華全国青年連合会主催歓迎会

訪問先都市	北京
面会者	李青 (Li Qing) 副秘書長
コメント	会場となった便宜坊は中国で最も有名な北京ダックの店舗の一つであり、全青連の会食で使われることも多い。全青連の方々や、在中国日本国大使館の方々と夕食を共にし、日本青年は「ふるさと」と「朋友」を披露した。中国側の方々からは、「日本人に対してとても良い印象をもった」「中国語で歌を歌う姿に感動した」との感想をいただき、友好を深めることができた。

8月25日(火)

KAB青年就職起業センター

訪問先都市	北京
面会者	魏和平 (Wei Heping) KAB創業教育全国推広弁公室秘書長 孟佩佩 (Meng Peipei) KAB創業教育全国推広弁公室項目官員
コメント	KAB (Know About Business) 青年就職起業センターは、これから起業を志す青年が起業について学ぶ施設であり、今年で創立10周年となる。施設では、起業家や、これから起業を志す中国青年と、日本・中国の就職事情や起業状況等について意見交換を行った。

東城区朝陽門史家胡同コミュニティ

訪問先都市	北京
面会者	李秀英 (Li Xiuying) 朝陽門街道弁事処主任 孟洋 (Meng Yang) 朝陽門街道弁事処副主任 馮洋 (Feng Yang) 朝陽門街道团委書記 葉望舒 (Ye Wangshu) 朝陽門街道弁事処宣伝部幹部
コメント	史家胡同コミュニティは、七つの胡同コミュニティの中の一つである。コミュニティ内の教室にて、600年の歴史を持つ昆劇についての講義を、現地の子供たちとともに受けた。その後、現地のボランティア少女の案内の下、併設されている北京で唯一の胡同について紹介する博物館を視察した。

8月26日(水)

商務部

訪問先都市	北京
面会者	宋耀明 (Song Yaoming) 商務部參事官 郭強 (Guo Qiang) 商務部處長 羅曉梅 (Luo Xiaomei) 商務部處長
コメント	中華人民共和国商務部は、主に貿易と経済を管轄している。中国経済の情勢について、宋耀明商務部參事官より講義を受けた。講義内容は、一帯一路 (ワンベルト・ワンロード)、西部地方や東北地方の開発政策などの、中国国内の経済政策についてが主であった。これからの中国内陸部の発展の可能性を感じた。

山西省青年連合会主催歓迎会

訪問先都市	太原
面会者	任忠 (Ren Zhong) 副主席 楊建忠 (Yang Jian Zhong) 秘書処秘書長 熊芳 (Xiong Fang) 秘書処副秘書長 張文斌 (Zhang Wenbin) 秘書処副秘書長 原野 (Yuan Ye) 秘書処幹部
コメント	太原は山西省の東部に位置し、北・西・東の三方を山に囲まれている。高原地帯に位置しているため、年間を通じて乾燥しており、過ごしやすい気候である。ホテルに到着後、山西省訪日団の既参加者と夕食を共にした。太原市特産の麺料理などを堪能し、食文化を学んだ。最後に日中両参加者で「朋友」を合唱し、大いに盛り上がった。

8月27日(木)

太原電子商取引産業パーク

訪問先都市	太原
面会者	楊建忠 (Yang Jian Zhong) 山西省青年連合会秘書処秘書長
コメント	太原電子取引産業パークは2013年に創立、41の新興ベンチャー企業が入っている。電子商取引模範企業を育てており、人材育成・起業指導・融資相談・公共サービスのプラットフォームになっている。この施設で起業を成功させた方々の話を伺い、入居企業を見学した。その後、座談交流を通して、インターネットを使った新しいビジネス、現在の日本と中国におけるインターネットの状況について意見を交換した。

太原重機械グループ株式会社

訪問先都市	太原
面会者	孫儒 (Sun Ru) 党委工作部主任
コメント	1950年に北京にて発足。中国で初めての橋型クレーンやガス発生炉などの重機生産製造会社である。また、中国におけるロケット射場は全10箇所であるが、その全ての建設は同グループ傘下の太原重工株式会社が執り行っている。中国の重工業産業を支えている太原重工の資料館、施設内の4つの工場を実際に訪問し、鉄道の車軸などの生産現場を見学した。現代中国の発展を目の当たりにし、今後の中国の発展においてさらなる可能性を感じた。

8月28日(金)

祁県喬家大院

訪問先都市	太原
面会者	喬安琪 (Qiao Anqi) 喬家大院旅游资源株式会社董事長 司沢沢 (Si Zeze) 喬家大院旅游资源株式会社董事長助理
コメント	映画「紅夢」が撮影されたことで有名な、清代に金融資本家であった喬一族の邸宅で、現在は民族博物館として公開されている。敷地内には一族の邸宅をはじめ使用人の生活関連施設などの多数の建物から成っていることから、集落のようである。科学、歴史、芸術の価値が一体となって集まった中国北方の美しい造りの建築物から、当時の人々の生活を感じることができた。